

厨房とび出し調理

利用者の方11人が見守るなか

ミニキッチンで昼食作る

平成21年9月26日、愛全園2階のミニキッチンで水野調理員が昼食のかずを作りました。

お部屋のそばまで調理員が出向くところが新しい取り組みです。下ごしらえから盛り付けまで、

すべてを利用者の

方が見ている前で行います。お互い

の顔が見える距離での調理は、まさ

にライブ感覚。完成までの時間、に

おいや音の演出で、利用者の方々は興味が尽きない様子でした。

この日は「サバの油ろし煮」と「ジャガイモのカレー煮」の2品です。2階西側にお部屋のあ



調理器具が並ぶと、すぐに利用者の方が現れます

る方14人分の調理でした。

時折うなずきながら調理を見つめる小林ツヤさん

この日は「サバの油ろし煮」と「ジャガイモのカレー煮」の2品です。2階西側にお部屋のあ

まず、材料を刻む音がリズム良く響き、サバを揚げるパチパチパチッという小気味良い音が続きます。同時に、油において立ちはだめました。グツグツ煮込む音や鍋から立ち上る湯気とともに、や

料理が出来上がるころ、木村調理員も加わって、早速、味見が始まりました。



サバを揚げるころには大にぎわい！！

今日の調理は？ 水野さんに聞く

今、出来たばかりのものを目の前でおいしそうに食べていただけるのは、本当に充実感があります。

今日のメニューで言えば、カレーが苦手な方でも、意外にも「食べる」と言ってくださる方がいて、うれしいですね。その場で作ったほうが好き嫌いせずに食べていただけるように感じます。

ただ、今日は開始時間が予定より少し遅れてしまって…内心はドキドキでした。この緊張感もミニキッチンで調理するからこそその感覚でしょうか。



皮むきに集中

